



ぼらんていあ通信

No.423

2017年2月21日

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp <http://sagamiva.wordpress.com/>

今年花粉飛散量は？

3月の記念日は？

小倉義男

3月7日、花粉症記念日です。あまりありがたい記念日ですが、花粉は一年中飛んでいます。なぜこの日が花粉症記念日なのかというと、3月7日は気象庁が花粉の飛散状況を調べ始めた最初の日であるという説がありますが、気象庁はホームページでこれを完全に否定。そもそも花粉の飛散状況は気象庁でなく環境省で、その誰かが密かに記念日を作ったのがいつの間にか広がったのではないかと考えられているそうです。まあ、謎はどちらでもいいです。少しでも楽ししてほしいですね。σ^_^

小倉画



傾聴入門講座

今年も始まりました！

平成二十八年年度

ボランティア入門講座



ボランティア協会主催の講座 傾聴活動入門講座(全三回)が、一月十七日(金)からスタートしています。

高齢になって独り暮らしになったりすると、人と話す機会が少なくなり、誰かと話してみたい。そのような時に、寄り添い、話を聴くことで心のケアを行う傾聴ボランティア。すでに南区では、活動に入っています。これからは増々需要が増えると思われるので、活動していただくお仲間が増えるといいですね。

*詳細は、「みんないい人」の二〇一七年二月一日号をご覧ください。

投票はお済みですか！

二〇一七年度役員選挙の信任投票は今月中です。済みましたか？ あじさい連絡所までご持参くださるか、郵送(フックスは不可・二十八日消印有効)をお願いします。

(役員選出管理委員会)

忘れずにお願いします



訃報に際して

塚本さんと宮河さんをおんで

会長 西本 敬

この一月、お二人の訃報に接しました。塚本さんと宮河良一さんです。

塚本さんは元会員でいらっしゃいました。二〇〇二年度から二〇〇四年度の間に、当協会の会長としてリーダーシップを発揮されました。二〇〇三年度にNPO法人として登記しましたから、その前後の最も大変な時期のことでした。飄々として飾らぬ姿勢で、場を和ませながら進められるその雰囲気には何とも言えない味があったなと思います。役員を退かれた後、病に倒られ、長いリハビリと闘病生活を過ごされましたが、一月十八日にご逝去されました。

宮河さんはズバズバと物事の本質を言われ、軽妙洒脱、お酒の好きな方でした。ハンディキャップの運転、介助、同委員会の役員、協会理事、監事など大いに活躍されましたが、イベントなどどんな場面にも気軽に参加され、幅広い活動をされました。ここで人手が欲しいといった時には欠かせない人材でした。また、相模原災害ボランティアネットワークには協会代表として参加され、運営委員でした。いつも大変お元気で、一月十一日のイオンの黄色いレシートキヤンペーンで一緒にしましたので、十六日にご逝去との訃報にただ驚いた次第です。

お二人に対して心より哀悼の意を表するものです。合掌

ボランティア団体紹介Part③



朗読サービス あけびの会(城山地区)

代表 宗田真理子

私達は、視覚に障害がある方を対象に、広報などを朗読し録音テープを郵送でお届けするボランティアグループです。設立は約二十五年前の平成四年です。

城山保健福祉センターが建設され、設立時のリーダーのご尽力で録音室が設けられ、住民に呼びかけ数名が参集し、その後五月雨のように集まり、現在もそのメンバーです。「声に出して読む」ことが好きな素人集団に、リーダーは熱心に基礎から指導してくださいました。関西方面のアクセントも許容され「あけびの会」としてスタートしました。

合併前は町内の方に町内で発行される広報紙、公民館報、社協だより、選挙公報を朝から夕方までかけ作業していました。テーマ音楽は「しろやまわが町」でした。

合併後は、全市内情報が増え、地域内の情報量は減りました。城山地区内では、毎月「城山情報」、隔月「高齢者支援センター通信」バしろやま、季刊「公民館報しろやま」、年二回「社協だより」はあけびの会「しろやま」を発送しています。

合併で最も変わったのは、旧市で活動されている録音奉仕会の依頼により、ボラ協発行「ほら通」のテープ作成発送を任されたことです。マニュアル指導により、二〇一〇年四月から市内全域三十一名の方々に発送し、市内



デビューしました。デジタル化のご指南をいただきましたが機械オナチの為断念。CDではなくABで続けます。メンバー七名、月一回の勉強会に励みつつ、楽しく活動を続ける覚悟です。

*広報委員会では、毎月「ほらんていあ通信」の印刷後すべに、あけびの会にお送りし、録音・発送をお願いしています。お陰様で、視覚障がい者の読者の方々にも、ボランティア協会の活動等をお伝えすることが出来ています。これからもよろしくお願いします。



クイズに挑戦

平仮名並べ替えクイズです。並べ替えて出来る言葉は何でしょうか？

① ききゆ か

② ほんきよ じ

③ りさん くいん

④ てか しいん

報告

住まい探しサポーター養成講座を受講して

田中すすみ

昨年十一月に理編編、この一月に実践編の二日間の講座が開催されました。様々な理由で住まい探しをする高齢者や障害のある方などをお手伝いする『住まい探しサポーター』。協会の活動として四年前から始まりました。

神奈川県にはなかなか住まいまちづくりの協会が中心となっており、県・市・不動産店が協力して支援する体制があり、相模原市では年六回高齢者住まい探し相談会が開催されています。

住まい探しサポーターは相談者の方が緊張せず安心してスムーズに相談会でお話が聞けるようサポートする役から始まります。希望があれば不動産店への同行や、転居後の生活の変化を考えて地域とのつながりが見つけられるようなアドバイスまで出来れば一人前。今回の講座はこのボランティアの心構えや住まい探しの要点をわかりやすく研修できました。

相談会に参加している協力不動産店の方々も相談者のことを親身になって考え、住まい探しを手助けして下さっていることが伝わってきました。

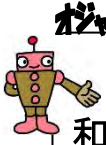
住まいのことで思い悩んでいる方が孤立する事なく、この街に住んで良かったと思っていたいただけるような活動のお手伝いができれば、と思い講座の会場を後にしました。「興味を持たれた方は事務局までご連絡ください」。

*先日、「平成二十八年度相模原市高齢者住まい探し相談会等事業」連絡会議が開催されました。不動産関係団体、市及び関係部局の皆さんと共に、ボラ協からは会長を始め数名のサポーターが参加し、今後の事業促進のための意見交換をしました。



ボランティア活動グループ訪問記

和気あいあいの「やべよんサロン」



一月九日、小雪のちうつく中、中央地区社協の鈴木さんに紹介いただいた矢部・村富神社の一角にある矢部自治会館で開催の「やべよんサロン」を訪ねました。代表の荒木百恵さんと電話で訪問の約束をした時に二月は「万華鏡」作りと聞き、材料費百円を払い参加させてもらうことにしたので同行の三十尾さんと楽しみにして伺いました。



代表の荒木さん

畳の部屋の会場では二十五、六人の方が集り、和気あいあいとした雰囲気でした。机の上には材料が並べてあり黒板には作り方の説明図が張り出されています。講師はサロンのお仲間の青木守市氏です。

サロンができたのが平成十八年。荒木さんが民生委員をされていた当時、お手伝いをされていた村富サロンが手狭になり、それではということで新しく開設されたのが「やべよんサロン」ということです。当初は無料の会場の確保や、サロン活動への理解を得るのに苦労をされたとのこと。現在会員は二十一名、ボランティアの方を入れると三十名ほど。毎年二月の行事「一年を振り返りおしゃべり会」で次年度の実施内容を決めるのが。

今年度の行事を見ると四月の村富神社境内に咲く見事な桜を眺めてのお花見会に始まって、絵手紙教室、学習会、七月は流しそつめんとあり何やら、と

でも楽しそつです。毎回費用はお茶菓子代百円と行事によりプラス材料費。

さて万華鏡ですが青木さんや荒木さん、ボランティアの方の手助けを頂き、筒の先端に彩り良い紙を細かく切ったものやビーズを入れ、筒を回しながらできていく模様を覗き、模様が気に入るまで足していきます。紙を入れ過ぎると暗くなってしまうとアドバイスがあり調節します。私の万華鏡はシンプル過ぎましたが初めてにしては良くできたと思ひ満足。三十尾さんのは華やかな、まさに華麗なレイドスコップができていました。個人のセンスが出るんですね。ガラスの蓋をして筒に化粧紙を張り完成です。

会員の方たちはこれまで会で撮った自分の顔写真を先端に貼り付け、世界にひとつの万華鏡が出来上がりました。お茶を飲んで休憩の後、最後に恒例のコーラスタイム。荒木さんの演奏するキーボードに合わせて、冬景色、雪、寒い朝を歌いました。歌の合間に荒木さんは「昔、麦踏みしたことある人いますか、五人いるんだねえ」とMCぶりも發揮。会場が盛り上がり、皆のこやかな笑顔があふれる中で会が終了。雪も小雨に変わり、万華鏡をお土産に帰りました。

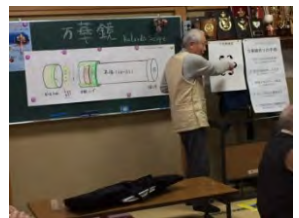


覗くと私がいる万華鏡を作っています～



荒木 百恵子

お忙しい中、お話を伺うことができありがとうございます。
(三十尾・小林)
(連絡先)
相模原市中央区矢部
一二十一年七



まず手順から説明する講師の青木氏

Twitter

ぼらんていあ通信版

ツイッターコーナー

ハンディキャップ音

塩田信子

テレビ放映のために、ドアノブを塗りながらにこにこして出て来た萩本欽一さん。

一九七九年(昭和五十四年)日本テレビからハンディキャップの寄贈があり社協の職員、他のボランティアさんと共に、車の鍵を受け取りに行った時のこと。この頃は二十四時間チャリティーのメインは今の様な若いタレントではなく、欽ちゃんでした(欽ちゃんも随分若かった)。

ハンディキャップ市民の会で運行開始。ボラ協発足後一台から三台、そして三台へと、利用料の無料から有償化へ。

小さなボランティア、市民の会からのハンディキャップの運行も早や三十五年を経過し、会長、理事さん、運行に携わったすべての皆様に感謝です。

此の頃は施設の送迎や個人の自家用にハンディキャブは見かけない日はないほど普及、それでもボラ協のハンディキャブ利用者は、高齢化社会に向かい更に増えるでしょう。沢山のボランティアさんが関心を持ってくれるといいのですが！

クイズの答え

- ①ゆきかき(雪かき) ②ほじょきん(補助金)
- ③さいくりんぐ(サイクリング)
- ④かいてんずし(回転寿司)



理事のひらき

「本音と建前」

理事 西本 敬

ちよつと今朝のNHKテレビ「あさイチ」で、災害支援のプロフェッショナルという題名で、震災復興支援を続けている方の紹介をしていました。プロといっても、職業として報酬をいただいている者という意味ではなく、被災者に寄り添い、必要な支援内容を見つけ、支援者を繋いでいくことにいて高度の力量を持った方という意味であつたと思います。現在も熊本など被災地で活躍されており、NGOに所属し、財政は寄付によって成り立っていて、それが活動している人の最低限の生活費になつていくとのことでした。

これらは、社会に向かつて活動内容を発信し、活動の意味を理解いただき、そして寄付を募つて受け取り、運営と活動の画面でそれを生かしていくことで成り立っています。それぞれの分担の中で、個々の人が力を発揮しているからこそできることです。決して、現場で活躍している人だけでもないし、寄付を募っている人だけでもない、すべての人たちがうまく機能できているし、社会から共感を得ていることによって可能な活動だと思います。

このような活動を阪神・淡路大震災以来、長期にわたつて続けてきた人にとって、それが可能であつた理由はと訊かれると、「活動する上で、たぐさんのことを相手からいただいていたから」とのことでした。私自身もそうですが、結局、長く続けていられたことの理由はそんなところにあるのですね。

このような話を人様にすると、「そんな格好いい事を言つてー」と冷やかされ、ひよつとすると笑われるかも知れませんが、「もつと、何かいいことがあるんでしょつと。」と。じゃあと考えてみて、ほかにどんないいことがあるのでしょつと……。もちろん、何かを企てて、期待したおりの成果が得られた場合の達成感も大変いいことではあります。しかし、やはり、前述のようには叶わないのではなかつたでしょうか？

「本音と建前」という言葉があります。本音は自分にかんがひのいいこと、建前はかっこよく話すことなんて、思われていませんか？「ボランティアだつて少しでもいいから報酬がないとやつていられないよ」というのは本音として言われることがあると聞きます。私は思います、それは実際に人に寄り添つて何かをやつて、感謝していただき、自分にかえつてくる何かを感じた経験がないからではないだろうか。このいついかなら、本音を先に言つてしまつて、ちよつと自分を偽悪人にしてみて、決着をつけてしまつていいのではないかと思つたのです。

建前はちよつとええかっこいいに見られてしまつてもいいませんが、それに従つてみると意外にサバサバして、気持ちいいものです。実は、結構自分を楽にしてくれるものではないかと思つたのです。「本音と建前」長々と話してしまいましたね。

私が今、本音と建前が一致して思っていることは「人生すべてのステージでいかに孤立化しないようにするか」ということです。人は生まれてこのかた、誰かとながつて居場所を得てきました。しかし、時として不幸なことに、孤立してしまつてしまいます。小さなことも若いママが社会から孤立していないか、学校でいじめられて孤立していないか、あるいは、学校から誰もいない家に帰つてきて孤立していないか、勤め先で誰もつまづかないで孤立していないか、老いて外出できなくなつて誰と話すこともなく孤立していないかなどです。

ボランティア活動はある面においては孤立を防止する作業ではないかと思つたようになりました。そこで最も大切なことは「寄り添つて気持ち」を忘れないことでしょう。活動の相手としてみるばかりでなく、相手の気持ちを思いやつてみることはできないでしょうか？え？そんな格好いいこと言つてまだ思いますか？

理事会報告

二月八日（水）十五時から（理事七名）

◆情報戦略委員会

ホームページの改良はサボセンの助かるバンク該当者に協力して頂く事で検討。

◆広報委員会

協会リーフレットを改定印刷する（二千部予定）。広報管理理事をつなぎとして町田理事が担当。

◆ハンディキャップ委員会

登録更新と料金改定の認可を得たので、料金改定通知文を利用者と該当ボラへ発送する。

十一号車の介助ボラが居なくなつた為、一部重度障がい者を除き、運転者の一人運行とした。

福祉有償運送の苦情処理副担当を杉本理事とした。

◆総合企画委員会

中央地区の傾聴活動PRチラシを作成。高齢者支援センターと高齢者施設に送り、反応を見る。

◆事務局委員会

一月より委員会を事務局員全員参加の形にした。宮河理事死去に伴い、理事変更届を市に提出した。

正会員登録の通知を二月のぼらんに通に同封する。

NGO法改正に伴つて定款の変更に着手する。

◆講座検討委員会

春講座における当日の分担を決めた。

来年度の養成講座（夏講座）講師選定をしている。

◆その他

NGO法人の主たる事務所の住所は、現会長の西本宅（並木）を今後とも継続する。

黄色いレシートキャンペーンのダイエー相模原店の代替をダイエー上溝店にした。

市社協のあじさい会館内組織改編に伴い、ボラ協の事務所は二階に移転する。三月十七日から移動作業。三月二十一日より二階にて業務開始予定。

左記により情報誌わくわくの印刷日を変更予定。

次回理事会 三月一日（水）

イベント情報

ひろめよう！認知症サポーターの輪
～相模原市キャラバン・メイト
報告会～

日時 三月四日(土)
午後二時～午後四時半
場所

あじさい会館ホール
(中央区富士見六の二〇)
プログラム

・相模原市における認知症サポ
ーターキャラバンの実施状況と、
今後の展望

・キャラバン・メイトによる活動
報告「認知症サポーター養成講
座を通じて取り組む街づくり」
・パネルディスカッション

「認知症になっても安心して暮
らせる街づくりに向けて、私た
ちができること、すべきこと」

対象 認知症サポーター養成講座の
講師役であるキャラバン・メイ
ト活動に興味のある方

定員 350名(事前申し込み不要、
直接会場へ)

問合せ

相模原市キャラバン・メイト事務局
・相模原市地域包括ケア推進課
電話：042・769・9249
・NPO法人Link・マネジメント
電話：042・707・1603

ボランティア協会 3月のよてい

日	時間	内容
1(水)	15時	定例理事会
11(土)		黄色いレシート キャンペーン
17(金)～ 20(月)		事務所移転作業
21(火)	13時	ぼら通印刷
22(水)	13時	ぼら通発送
25(土)	10時 10時 13時	HC 委員会 講座実行委員会 事務局委員会
27(月)	14時半 16時	総合企画委員会 情報戦略委員会

相模原市内3月のイベント情報
(市商業観光課HPより抜粋)

○津久井城まつり
開催日時 三月五日(日)
午前十時から午後一時まで※雨天中止
開催場所 津久井湖城山公園
根小屋地区パークセンター周辺
○本沢梅園まつり
開催日時 三月十一日(土)・十二日(日)
午前十時から午後三時まで
開催場所 本沢梅園管理棟前広場
(緑区川尻四四七の一付近)
○灯りの街「小原宿ライトアップ」
開催日時 三月二十五日(土)
午後五時三〇分から八時まで
開催場所 小原宿本陣(緑区小原六九八)
及〇甲州街道沿いの街並み
○新機嫌まつり
開催日時 三月二十六日(日)
午前十時から午後三時まで
開催場所 新機公民館・公民館駐車場・
市道新機線の一部

こんなことでお困りではないですか？

- ・エアコンの効きが悪い(冷えない、暖まりにくい、
風が弱い)
- ・臭い気になる、嫌な臭いがする(ホコリっぽい、
たばこのヤニの臭い)
- ・音がうるさい ・ほこりが出る
- ・水が漏れる ・エアコンをクリーニングしたい
- ・新しいエアコンにしたい
- ・エアコンを増設したい
- ・エアコンの場所を移動(引っ越し、家庭内での移動)

※業務用から家庭用まで幅広く対応いたします。
何でもお任せ下さい。

エアコンのお掃除をするといいいことがたくさん！！

- ・ダニ、ホコリ、カビ、雑菌を除去！クリーンな風で
アレルギー対策の一環にも！
- ・風量が増すので、省エネ効果がUPし電気代の低減に！
- ・たばこなどの部屋の悪臭を減らし、室内環境を快適に！
- ・水漏れ、異音、騒音などのトラブルを未然に防止！
- ・エアコンのプロによる徹底的なお掃除で、耐久率UP！
「素早く」「美しく」「丁寧に」

快適で清潔な風をお届け致します！少しでも気になる事が
あれば、お気軽にご連絡ください。
お客様が安心し、ご満足頂けるよう常に心がけております。

相模原市で活躍する会社紹介

 **Imarise**
株式会社 IMARISE



創業 2012年6月22日
代表取締役 今岡 俊二 さん(38歳)
2017年 相模原青年会議所 副理事長
所在地 〒252-0328
中央区緑が丘2-41-1
電話 042-851-4586
FAX 042-851-4587
URL: <http://www.imarise.net>

株式会社 IMARISE(イマライズ)は、空調設備
工事、電気工事を行う会社です。環境に優しく、
安全・安心で信頼性の高い工事をお届けするよう
更なる向上を目指してまいります。地域密着はも
ちろん！関東全域で施工させて頂いております。

一般家庭のエアコンから業務用(飲食店、学校、
保育園、病院、工場など)まで様々な建物にあっ
た空調設備を提案し設計・施工を行います。

施工、試験、検査、引き渡しまでお任せ下さい。

エアコンの事ならお任せ下さい！

仲間

宮河様、 有難うございました

去る1月16日、ハンディキャブ委員会の前委員長
宮河良一様みやがわがご逝去（享年82）されました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

宮河様は、私がハンディキャブ活動を始めた時の先生でした。彼がハンディキャブ委員長に就任された時に、それまで不定期刊行だった「ハンディキャブだより」を月1回発行することになりました。以来、宮河様のウォーキングコースに近い我が家の郵便受けには、彼からのご投稿文や赤ペンで添削されたグラが定期的に投函されるようになりました。いつも、その端正な筆遣いに感嘆し、こまやかなお気遣いに感謝してきました。

ぼらんていあ通信 No.404 で、宮河様が貨物船で横浜～ニューヨーク間を航海されていたことを知りました。今は天国から『青い空と海の境界線を眺め、地球は円いことを実感』されているかもしれませんね。

海原を往く君残せし航跡の

深さに悼む筆たどらどし 井上正昭

利用料金改定により 来2月、10号車を更新

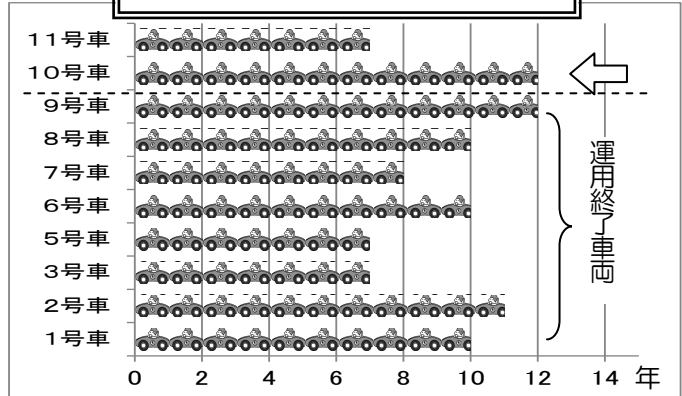
既にご案内のように、本年4月より利用料金を改定（※）いたします。

※迎車回送料金の新設

この施策によるハンディキャブ事業の収支改善を基に、南区に配備している福祉車両（10号車）を来年（2018年）2月に更新いたします。

ハンディキャブだより

各車両の運用年数（本年2月末現在）



まだ間に合いますヨ！ 3月5日・12日「国交省認定運転者講習」受講者募集

知ってる？ ハンディキャブって何？

これがハンディキャブです

ハンディキャブとは、歩行困難な方々の外出を支援する車です。通院・買物・行事への参加などに利用されています。車いすで乗れるように後部に乗降装置が設けられている当協会所有車と、ボランティアさんの自家用車で運行しています。

ボランティアさんを募集しています

ハンディキャブをフルに利用していただくために、運転ボランティアさん・介助ボランティアさんがたくさん必要です。簡単な研修を受けて、気軽にあなたもやってみませんか。ハンディキャブの運転は、「普通免許」でも出来ます。



ハンディキャブは私たちにとって、なくてはならない“足”で、安心して利用しています。（利用者さんの声）



喜んでもらえるのが、何より嬉しいです。（ボランティアさんの声）

探しています。運転ボランティアさん・介助ボランティアさん！！

相模原ボランティア協会は、住みよい街づくりを目指して活動しているボランティアの集まりです。36年の歴史があります。



特定非営利活動法人
相模原ボランティア協会

お問い合わせ

あじさい連絡所 042-759-7982

助けあう心 やさしい心 ありがとうの心 つなぎあう手

※このボランティア募集ビラ（A4版）の題字や基本構成などは、以前から当協会でも運用されてきたハンディキャブ紹介ビラより引用

地区社会福祉協議会 活動紹介 VOL3

“地域にある福祉課題を発見し、みんなで共有し、解決していく”
「福祉コミュニティ形成事業」の各地区の取り組み

今までも、これからも「ぬくもりを大切に」

橋本地区社会福祉協議会 大内聡一郎 会長

新たな住民同士の関係づくりを目指し、橋本駅近くの一軒家を借りて、橋本地区社協の活動拠点「ふれあいの家“ぬくもり”」の運営を行っています。



「ふれあいの家“ぬくもり”」では、毎週木曜日に地域のボランティアによる“ぬくもりよろず相談”の開催をはじめ、男性ボランティア主催の“ぬくもり喫茶”、親子向けの子育てサロン、介護予防・マッサージ教室など、週ごとに喫茶や将棋など趣向を凝らして誰でも参加できる憩いの場としてとても賑わっています。

そして、4月からは、これまでの橋本2丁目から元橋本町へ会場を移転し、リニューアルスタートします。

★平成28年4月1日現在
人口 72,198人
高齢化率(65歳以上) 19.6%
年少人口率(14歳以下) 13.4%

交流・仲間づくりの場の充実 「大沢 comcom.com」

大沢地区社会福祉協議会 吉村幸弘 会長



大沢地区では、「大沢 comcom.com」という愛称で会議や集いのイベントを実施しています。この愛称は「コミュニケーションが広がり、コミュニケーションに参加する方々でドット混み合うような地域を目指していこう」という意味です。

日頃から地域の中で活躍している方々が、特技や経験を活かして「歴史講座」・「笑いヨガ」・「歌いま専科.com」などを開催。劇団「青い山脈」が楽しい演技を披露し、会場を盛り上げています。また、休憩時間には、「大沢こむこむ茶屋」と称してお菓子、お茶やコーヒーを提供し、参加者とスタッフが一緒に語らいながら、楽しいひとときを過ごしています。

★平成28年4月1日現在
人口 33,204人
高齢化率(65歳以上) 24.2%
年少人口率(14歳以下) 15.1%



ボランティアさん募集！

デイサービスセンターでの囲碁の相手

内 容 80歳代の男性の囲碁の相手、初心者程度の腕前です。
日 時 月1回程度で、月・水・金曜日の午前10:30~11:30
場 所 デイサービスセンター泰政園（中央区中央5-3-18）



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042(786)6181



相模原市民桜まつりに参加しませんか？



ボランティア募集

内 容 パレード参加・福祉ゾーンバザーやボラ協コーナーの運営のお手伝い。
また、各ブースの準備や片付けのお手伝いや声かけなど
日 時 平成29年3月31日(金)~4月2日(日)
ご都合のよい日・時間帯に2時間~
場 所 市役所周辺の桜まつり会場内



バザー品募集

ご家庭で不要な物(古着以外)、ご寄付いただける手芸品や材料などをご提供いただけませんか？

収集期間：3月21日(火)~3月31日(土)

の10時~15時(日曜を除く)

あじさい連絡所への持ち込みが無理な方はご連絡いただければ、日時を調整しお伺いいたします。

連絡・問い合わせ先 相模原ボランティア協会 あじさい連絡所：電話 042(759)7982

最近のニュースで、高齢者年齢が六十五歳以上から七十五歳以上に引き上げられるようだ。
「元気な高齢者が、支援を必要とする高齢者の手助けをする」ボランティアの世界ではあたり前の話だ。元気な高齢者になるためにはボランティアをやる方がいいですよ、と言いたいです！(山)

編集後記



《今月のイラスト
...上手に歩けるかな!》

会員登録のお願い

来年度の会員登録が三月一日から始まります。あじさい連絡所、または郵便振込で更新手続きができます。現在の登録状況を記載した登録票を同封しましたので、ご確認ください。よろしくお願いします。

あじさい連絡所移転のお知らせ

当協会あじさい連絡所は、三月十九日(日)~二十日(月)にあじさい会館二階へ移転予定です。

